

図書委員によるオススメ本を紹介するビブリオバトル 一番読みたくなった本はどの本？

1 活動の概要

向上高等学校では、読書量と読書のアウトプットをする機会を増やすことを目的として、ビブリオバトル ～バトル～（参加者同士）で5分間、本を紹介し合い、2.3分の質疑応答を経て、どの本を読みたくなったかをギャラリー（観客）が投票して、1位（チャンプ本）を決めるゲーム～ を実施している。

2 活動の状況、実際

- 生徒はビブリオバトルに向けて発表に適した内容を考え、タブレットに書き込んでまとめる。事前に司書や教諭の前でリハーサルを行う生徒もいる。
- 校内予選を勝ち抜いた生徒は、向上高等学校の代表として神奈川県高等学校文化連盟主催のビブリオバトル大会やその他外部の大会に出場する機会を得ることができる。



昼休み 10分間ビブリオバトル



大佛次郎記念館ビブリオバトル

3 参加者、指導者等の声

- 委員たちから気軽にビブリオバトルを楽しもうと言う声があがって、公式ルールにとらわれない形で「昼休み 10分間ビブリオバトル」を行っています。お互いにレベルアップできるようにしたいし、選書にこだわり、こんな本もあるんだという本を紹介して皆に読んでもらいたい。
- 図書委員会の取り組みはビブリオバトルの知名度を校内で広める結果となり。国語の授業でビブリオバトルを取り入れている。各クラスのチャンプ本を図書室のコーナーに展示、そこに生徒が借りに来るので、図書室としても相乗効果が期待できる。
- 人前で話すことが苦手だった生徒が自信を持って、本を紹介している姿は素敵です。